

GTC Workshop Japan 2011 アブストラクト執筆要領

Instructions for the abstract of GTC Workshop Japan 2011

東京 太郎¹⁾, 六本木 花子²⁾

Taro Tokyo and Hanako Roppongi

1) 東京工業大学 学術情報センター (〒 152-8550 東京都目黒区大岡山 2-12-1 センター情報棟 2F)

2) 西東京大学 大学院情報理工学研究科 (〒 113-8550 東京都目黒区大岡山 2-12-1)

Key Words: *CUDA, Open CL, Fermi-core*

1 はじめに

ここに記載されている事項に従って作成した原稿を PDF 形式にて出力してください。

原稿は A4(210mm × 297mm) サイズ 2 段組, 1 ページにまとめて下さい。上下辺, 左右辺ともマージンは 2cm とし, ヘッダー, フッターは設けません。ページ番号なども不要です。本文は (25 文字 + 2 文字 + 25 文字程度) の横 2 段組とし, 行間約 14.4pt 程度, 文字サイズは明朝 9pt を用いて作成してください。

2 PDF ファイルによる原稿提出について

提出していただいた PDF ファイルについては, ヘッダ修正などの軽微な編集作業を行うことがあります。そのため, PDF ファイルにおける「セキュリティ」については「セキュリティなし (編集可能)」と設定して提出するようお願いいたします。

3 タイトル等

タイトルはゴシック体 18pt を用い, センタリングして下さい。次に英文タイトルを Times, 12pt で書いて下さい。

1 行あけて, 著者名を明朝 12pt, センタリングで書いて下さい。著者が複数の場合には, 肩カッコ付き数字をつけて下さい。次の行に, Times, 10pt を用いて英文の著者名を書いて下さい。

1 行あけて, 著者の所属を明朝 9pt, センタリングにより記入して下さい。著者が複数の場合には, 著者名につけた肩カッコ付き数字と対応させて記入して下さい。次の行に 3 ~ 4 個の英文キーワードを Times, 9pt, italic により記入して下さい。

4 本文

キーワードの後, 1 行あけて本文を始めてください。本文は, 一般ページと同じ, 横 2 段組, 50 行程度 (間隔約 14.4pt), 明朝 9pt で作成して下さい。

5 図表

図および表を挿入する場合は, 引用近くに配置して下さい。



図 キャプションを書いて下さい。

6 参考文献のレイアウト

参考文献は出現順に番号をつけ, 該当個所に [1] のように [1,2] カギカッコで指示して下さい [3] [5]。参考文献の引用リストは例を参考にして番号順に記入して下さい。

参考文献

- [1] 川井忠彦, 大坪英臣: 計算工学講演会論文集の書き方, 計算工学講演会論文集, Vol.1, pp1-2, 1996
- [2] Yamada, Y. et al.: Plastic stress-strain matrix and its application for the solution of elasto-plastic problems by a finite element method, Int. J. of Mechanical Science, Vol.10, pp.343-354, 1968.

厳密に上記の指定を守らなくても結構です。
全て英文での提出も受け付けます。その場合、日本語
のタイトル・著者名・所属は不要です。